

日本損害鑑定協会

ASC研修実施

現場実務に則した体系に改編

(公社)日本損害鑑定協会は、会員所属損害鑑定人向けの技能向上取り組みであるASC (Adjusting Skills College) 研修を、6月から7月にかけて開催した。同研修は、会員所属の損害鑑定人には、体系的なプログラムに基づき、高度な技術力・高い信頼性・分かりやすい説明力などの業務スキルを獲得することが不可欠という認識の下、高い鑑定品質を備えた鑑定人の育成と技術支援のため開催しているもの。今年度からは、より現場実務に則したものとするため、体系を大幅に改編して実施した。

今回から経験年数3年程度の手鑑定人を想定した研修(旧ステップI)は「ベーシック研修」として基本8科目に絞って整備し、会場集合型での運営とした。一方、経験年数5年程度以上の中堅鑑定人を想定した研修(旧ステップII)は「スタンダード研修」として専門10科目を設定し、全てウェブ配信による運営とした。従来は両

研修とも、全科目を受講する必要があったが、今年度から単科目での受講も可能とし、経験年数や受講履歴等に関係なく、「興味ある科目」を「希望するタイミング」で「繰り返し」受講することが可能な体系へと変更している。これにより、特にウェブ形式によるスタンダード研修では、単科目受講制度が積極活用され、多くの鑑定人の受

受講者ニーズにマッチした内容に

講につながった。講師は、協会内の経験値が高いベテラン鑑定人に加え、領域によって社外専門家も招き、専門性の高い講義の提供を行った。ベーシック研修は、7月11日から14日の4日間、損保会館大会議室で行われ、33人が受講した



ASC研修の様子

講(8月上旬にウェブでオンライン配信)。科目は、①コンプライアンス・倫理規定(はなぶさ法律事務所)②火災保険約款の基礎(株名鑑)③賠償責任保険約款の基礎(株内山鑑定事務所)④(株内山鑑定事務所)⑤建物積算の基礎(株アスカ総合鑑定)⑥(株アスカ総合鑑定)⑦マン

シオンにおける保険事故の鑑定実務(株三和鑑定事務所)⑧動産の基礎(株内山鑑定事務所)。同研修の冒頭では、太田

シオンにおける保険事故の鑑定実務(株三和鑑定事務所)⑧動産の基礎(株内山鑑定事務所)。同研修の冒頭では、太田

シオンにおける保険事故の鑑定実務(株三和鑑定事務所)⑧動産の基礎(株内山鑑定事務所)。同研修の冒頭では、太田

協会が鑑定業界の変遷について講話を行い、受講生である若手鑑定人に対し、業界の歴史と損害鑑定人の存在意義、同協会の取り組みなどについて説明した。

スタンダード研修は、6月の毎週金曜日(のべ5日間)に行われ、のべ771人(1科目平均77人)が受講した。科目は、①約款解釈・火災保険編(株名鑑)②約款解釈・賠償責任保険編(株内山鑑定事務所)③建物積算の基礎耐火建物編(マンシオン共用部)④(一財)経済調査会

の全科目受講を課していたが、受講者ニーズを踏まえ一切の制約を外し誰でも受講可能とした。結果、受講者数は倍増しており受講機会を増やす目的は達成できた。また、内容面でも昨年度から研修委員による全科目オプザープを実施し、受講者ニーズにマッチした内容になるよう講師との打ち合わせを重ねてきた。テーマや講義内容については今後もブラ

ッシュアップを重ね、鑑定人目線で真に必要な知識の習得ができるよう進めていきたい」としている。協会では、両研修の上位研修として、アドバンス研修(従来のステップIIIと力フェテリア研修に相当するもの)を夏季以降に複数企画しており、より専門的かつ品質の高い講義の提供に努めていくとしている。